

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別研究（Environmental Information Engineering Studies）		
ナンバリングコード	R40403	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1 年 / 通年
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M522110	クラス名	池見研究室
担当教員名	池見 洋明		
履修上の注意、 履修条件	大学院における研究活動の集大成をなす授業です。進行しつつある研究活動を踏まえ、修士論文を作成するために必要な内容の授業となります。 文献調査、フィールドワーク調査を踏まえ、それらを体系的にまとめるとともに、論文として、再構築していくプロセスの指導を行います。すべての調査が結果に結びつくわけではなく、試行錯誤の繰り返しによって論文がまとまってくるという経験を身をもって実践することが重要だと考えています。		
教科書	適宜、資料を配布します		
参考文献及び指定図書	応用地質、地盤工学会誌		
関連科目	地球学特論A、B、環境情報学特別演習		

○基本情報		
授業の目的	大学院を卒業するための要件としての修士論文の作成に必要な知識を深く学ぶことを目的とします。	
授業の概要	学生が行う調査・実習・文献検索・グループ討議等に参画し、適切な助言・指導を行います。さらに、学生が行う文献講読・研究テーマの設定方法・アイデア・課題解決・分析・研究結果・レポート作成・口頭発表などに際して、特別研究の価値を高めるための指導を行います。 内容が多岐にわたると同時に、研究の進捗状況に合わせて上記項目を進めていくため、個々の学生の研究内容によって授業内容や方針が異なります。個々の学生の研究進捗状況に応じて適宜、状況に合わせて授業を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	主体的に研究を遂行する。			30点
【知識・理解】	学会で研究発表を行い、質疑応答に適切に応えることができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	聴講者に対して、適切な資料準備、発表ができる。研究室内のグループワークをマネジメントできる。		20点	
【思考・判断・創造】	実現が困難なことに対して粘り強く対応できる。研究活動全般に対して、異なる視点から判断、微調整することができる。		20点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。				

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別研究（Environmental Information Engineering 池見 洋明	授業コード	M522110
学修内容				
1. 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表してください。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
2. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
3. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
4. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
5. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
6. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
7. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
8. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。				
予習	研究調査の報告準備。			約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別研究（Environmental Information Engineering	授業コード	M522110
		担当教員	池見 洋明		
学修内容					
9. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
10. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
11. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
12. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
13. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
14. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
15. 2回目以降も同様な形式で進め、修正研究を継続してください。最終的に論文を完成させ、公聴会で研究発表をしてください。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
16. <					